



京都の路地は奥に深いです

Qu



この地下鉄は、わたくしが学生の頃に開通しました。
京都を南北に貫く路線です。

儲からない、料金が安い、乗りたく無くなる、という
悪循環の交通機関です。

しかもこの路線は、主に通勤・通学になるので、
利用者数も伸び悩んでいます。



それでも努力はしています！



北山駅で下車。

ここは植物園入り口にある、カフェレストランの前です。

暫く来ないうちに、こんなにオシャレになっているとは。

(園内は昔のまんまでした)



その向かいにあるブーランジュリー
で、2階はレストラン。

ランチ1300円でしたが、昼時はかなりまたされました。
でも、美味しいし、パンも食べ放題で納得です。



北上します。
住宅街のガレージの上にいる、柴犬と目が合ってしまった。

遊んで欲しそうでした。



この、煙突は、、、



お風呂屋さん。
立派です。中也凄そう。



何かなと思って覗いてみたら酒屋さんだったんですが、
ここまで立派な酒屋さんはあまり見ないです。



御園橋を渡って、上賀茂神社の方へ行きます。
おばあちゃん、腰曲がってますね。



てな感じで、門前にはやきもち屋さんが3軒ほど。
ここのお店が一番雰囲気がありました。

今回は食べてません。



これですよ、これ。

これこそが正統派鳥居です。

平安神宮の鳥居とか、ハリウッド映画に出てきそうです。

というわけで、文章も鳥居のようにすそひろがりにしてみました。



巫女さん。忙しそうでしたが、走ってはいかんのでしょうね。



上賀茂神社だけに、鴨川の源流、、、ではありません。すいません。

これが境内を南北に流れて、外の堀の方へと流れ出て行くのですが
この時点では、後であの恐ろしい惨劇が起こるとは予想だにして
いませんでした。



苔むした屋根がいいですね。

京都で神社をみるなら、上賀茂かなあ、という気がします。
ちょっと中心部から離れてるので不便ですが、背後が深い山で少し深閑
とした雰囲気もあり、境内を流れる川がいかにも清浄なところ。

なのにあんなに恐ろしいことが起こるなんて。



本殿の脇にあるお社の屋根に木が育っているんですが、
このまま放置すると屋根が大変なことになりそう、、、。



苔がこんもり”つもっている”と言う感じ。
周りが森なので、湿度が高いのかも。



この神社には有名な桜が何本かあるんですが、
この日はまだ咲いていず、この本殿前の桜も
ようやく開き始めたところでした。



ん。お前なにする気だ。こいつ本気だ、目がマジこええ。



おわぁ、啜えてる。周りでみんな見てるのに。
神社の境内で狩猟なんてしていいのか？



ああ、魚ぐったり。
鳥の目がすわってる。恐いわ、鳥。



この小川で禊なんかもします。
水に降りるところに、しめ縄なんかが張ってあって、
そういうところも、いろいろな想像がわいてきます。



スローシャッターを切っているだけで、こんなに激しく流れている
のではありません。でも、水量は豊富です。





幼稚園の子供達が遠足にきていました。
お弁当食べてるみたいですね。

一番目の鳥居から次の鳥居までの間が、広い芝生になっています。



賀茂別雷大神をまつる本殿の他にも、
こういうお社がいくつもある、かなり大きな神社です。

場所的には、京都市街の北の果てなので、
古代から手つかずに残って来たのかもしれませんが。



上賀茂神社から流れだした水。

このあたりは、社家の方々の大きな家が立ち並んでいます。

1軒売りに出ていましたが、いったいいくらするんでしょう。

なかなか景色のいいところなんですが、観光客は殆ど来ないようです。

立ち寄るようなお店がないからでしょう。





超過密仙人掌团地



場所が変わって四条大宮のあたりです。
壬生寺を目指したんですが、行って後悔したのでそれは割愛。



雪のちらつく寒い日でした。
この界限は「染め屋さん」と「染み抜き屋さん」が軒を連ねる一帯です。

まさに表裏一体。



ご苦労さんです。



このお宅がですね。

引き戸の一部がさらに出入り口に細分化されている

この路地裏シリーズで初めて知ったドア構造の典型のような家で。

大物を出し入れする時にこの辺り↑も開くのでは？とか

こんなところに郵便受けが↑

そして自転車用の↑芸の細かいスロープ

と楽しいお宅でした。



是非、お邪魔して内側から見せていただきたいものです。



これまで、牛乳受けは何度も見て来たんですが、牛乳屋さんは初めて。
でも、多分見過ごしていただけたと思います。

全然目立たないんですよ。
でっかい冷蔵庫と、この運搬用のケースが置いてあるだけ。

店頭でも牛乳売ろうよ。牛飼おうよ。



このそびえ立つ煙突はもちろん、



サウナはともかく。

電気風呂ってなんなんでしょうね。

ピリピリしびれるんでしょうか。

学生時代に友人が行っていた温泉は、
7種類のお湯があるとか言ってたなあ。





苔玉というそうです。こちらはその専門店。
買って帰ったら、土に植えてあげた方がいいんでしょうね。



こういう長屋の風景は貴重になってきました。
あと何年残るかどうか。



嵐電です。江の電と同じような感じ、と書けば分かって
頂けるでしょうか。



壁ぎりぎりを走ってますね。

軌道が自動車道と同じところにあったり、こういう狭いところを
走ったりする割には、まったりとした雰囲気電車です。



北上して三条商店街に行き当たりました。
ここは初めて来たんですが、約800mの商店街の上がアーケードになっています。

なのに、午前中はクルマが普通に走ってくるので、超ビビりました。
だって知らなかったんだもん。



大事にされているサトちゃん



店内で自家製粉仕
換えて新鮮な小麦
パンを焼いています。
全粒粉パン
専門店、対

営業時間 10:00~19:00
(土曜・日曜・祝日)
定休日 毎週 水・木・日
TEL (090) 521-9335
山形県、新庄、水戸市

panscape

ここのパン屋さんは、ここで粉から作っている！
ということで、入店してパンを買いました。

もの凄く狭い。日本一狭いパン屋ではないかと思います。

おまけに、店内の湿度が高く、小雪が舞うような日でもあったので
入った瞬間眼鏡が真っ白になりました。

注文出来ねー。



これは「井上牛乳」
新種です。



悪だくみの笑みですね。





京都名物、日野菜のお漬け物。
ちょっと苦みがあるところが美味しい。
輪切りにするとほんのり桜色。
大好物。



ここのおばちゃんがまた面白い。
ちゃんとしたレジがあるのに、計算はそろばんなんです。

「そろばんですかぁ。」っていうと、
「これしかあきませんねん。」と笑ってはりました。



日野菜と白菜のぬか漬けは自分とこでつけてはるそうで、
もう一つは、すぐきです。これも京都名産。
ちょっとした発酵臭さがあって、これまたおいしい。大好物。

このお店のお漬け物はほんまに美味しかった。
京都駅とかで売ってる、大手の漬け物とはひと味違います。

今日のお昼は、お漬け物にご飯。だし巻き卵。

ほな、よろしゅうおあがり。

- 「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」 <http://p.booklog.jp/book/85513>
Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです na」 <http://p.booklog.jp/book/85209>
「passer un après-midi 午後の過ごし方」 <http://p.booklog.jp/book/84911>
「Travelogue ep.02 桜巡り」 <http://p.booklog.jp/book/84667>
「黄金の麦畑」 <http://p.booklog.jp/book/58662>
1.Largo <http://p.booklog.jp/book/83865>
2.Allegro molto
3.Adajo (連載中)
「黄昏の王国」 <http://p.booklog.jp/book/49612>
イーリアス編 <http://p.booklog.jp/book/51254>
アリシア編

Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです na」 <http://p.booklog.jp/book/84165>
Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです na」 <http://p.booklog.jp/book/83952>
「Travelogue ep.01」 <http://p.booklog.jp/book/83694>
Photo 「Hina」 <http://p.booklog.jp/book/83499>
Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです ita」 <http://p.booklog.jp/book/82880>
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」 <http://p.booklog.jp/book/82643>
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」 <http://p.booklog.jp/book/82160>
Photo 「からくれないに ni」 <http://p.booklog.jp/book/81713>
Photo 「bleu, jaune, vermillon」 <http://p.booklog.jp/book/81111>
Photo 「H.45」 <http://p.booklog.jp/book/80229>
Photo 「Fly me to Paris I ~ XIV」 <http://p.booklog.jp/book/74864>
Photo 「祇王 こけのころも」 <http://p.booklog.jp/book/74060>
Photo 「空と雨と6月と」

小説
「ネガティブズ2」 <http://p.booklog.jp/book/73051>
「ネガティブズ」

Photo 「空と僕と自転車とni」 <http://p.booklog.jp/book/72996>
Photo 「空と僕と自転車と」 <http://p.booklog.jp/book/72092>
Photo 「空と椿と木蓮と、そして花水木」 <http://p.booklog.jp/book/71344>
Photo 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」 <http://p.booklog.jp/book/70700>
Photo 「空と雲と、ときどき春の野に行く」 <http://p.booklog.jp/book/70137>
Photo 「空と月と、夜桜デート」 <http://p.booklog.jp/book/69415>
Photo 「空と木と、ときどきの梅暦」 <http://p.booklog.jp/book/68722>
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」 <http://p.booklog.jp/book/65536>
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.booklog.jp/book/64153>
Photo 「空と木とたまに月」 <http://p.booklog.jp/book/62540>
Photo 「からくれないに」 <http://p.booklog.jp/book/61473>
Photo 「空と雲と、ときどき月」 <http://p.booklog.jp/book/36294>
Photo 「夢みる桜」 <http://p.booklog.jp/book/45286>

ー 僕カノシリーズ ー
「僕が彼女に殺された理由(わけ)」 <http://p.booklog.jp/book/31906>
「僕と彼女の選択の事由(わけ)」 <http://p.booklog.jp/book/35498>
「僕と彼女はそれしか答えを見つけれなかった」 <http://p.booklog.jp/book/36101>
「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」 <http://p.booklog.jp/book/36617>
「僕と彼女と複雑な関係者たち」 <http://p.booklog.jp/book/37238>
「僕と彼女と単純な関係式」 <http://p.booklog.jp/book/37731>
「僕と彼女と校庭で」 <http://p.booklog.jp/book/38409>
「僕と彼女と校庭で 夏」 <http://p.booklog.jp/book/38977>
「僕と彼女のアリア」 <http://p.booklog.jp/book/46524>
「僕と彼女のインベンション」 (次回)

ー その他 ー
傘がない <http://p.booklog.jp/book/69798>
夕暮れの赤ちようちん <http://p.booklog.jp/book/42024>
いもうと <http://p.booklog.jp/book/40794>
サマータイム・ブルーズ <http://p.booklog.jp/book/34054>
危険なドライビングマジック <http://p.booklog.jp/book/33630>
デフラグメント <http://p.booklog.jp/book/33116>
インフルエンス あのころの僕たち <http://p.booklog.jp/book/32752>
花舞い、名残り雪 <http://p.booklog.jp/book/32187>

詞画集「ただ憧憬れだけを」 <http://p.booklog.jp/book/34472>
画集「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.booklog.jp/book/39345>